

全国統一要求（抜粋）

- 1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
- 2. 砕石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
- 3. 過積載復活させるな



発行所
全日本建設交運一般労働組合
東京都新宿区百人町 4-7-2
電話 03(3360)8021
毎月25日発行
1部 50円

車持ちダンプ運転手が1日労働(8時間運転)して貰える単価(全国)
国土交通省積算単価を踏まえて(全国平均:2025年4月)

	数量	単価	金額	
軽油	88L	154円	13,552円	}
ダンプ損料	1,440万円	10.5年(標準使用年数)	25,125円	
タイヤ損料	道路事情(普通の道路の場合)		1,487円	}
諸雑費(まるめ)			1円	
運転手労賃	2省協定2025年3月一般運転手(全国平均の労務単価)		24,605円	→ (1)
			64,770円	(直工費)

<直接工事費に関する内訳>

●**軽油の単価は**、(財)日本エネルギー経済研究所・石油情報センターの全国平均を使用(スタンド渡し)
使用量については、国の標準積算は8時間労働、ダンプ運転時間は5.9時間、65L/日で計算しています。
したがって平成28年度から燃料の消費量は「1時間当たり約11リットル」(変化なし)。
国交省総合政策局・公共事業企画調整課の調査(直轄工事・地方自治体)により燃料消費率が下がりました。
組合員の現場の実態は10時間拘束8時間運転になっている。
※実際組合員の平均消費量の88Lで計算しています。(実際は現場の工事内容によって異なります。)

●**ダンプ損料は**、標準使用年数10.5年、基礎価格は**1,440万円(昨年比40万円アップ)**です。
*機械損料数量1.25を乗じている「20,100円(10トンダンプの損料/日)×1.25=25,125円」

●**タイヤ損料費は**「普通」の単価として出しています。(変更あり)
(現場から処理場(移動先)までの道路事情の事を差しています。)
【良好とは】舗装道路その他これに準ずる良好な搬路の進行。(747円×1.25=933円)
【普通とは】路面がよく維持されている砂利道、これに準ずる搬路の進行。(1,190円×1.25=1,487円)
【不良とは】破碎岩の混入する搬路または河床路その他これに準ずる搬路の進行が主な工事でタイヤ損料が著しいと認められるとき。(2,710円×1.25=3,387円)

●**運転手労賃は**、2省(国交省、農水省)設計労務単価を適用。
「2省協定単価とは」前年度元請・下請業者が労働者へ支払った賃金台帳に基づき、調査した結果の良質サンプルの平均賃金を公共工事の積算に適用する労務単価。

<間接工事費に関する内訳>

車持ちダンプ運転手がもらえる諸経費の計算内訳

●**64,770円**(直接工事費)+間接工事費に含まれる金額(労働者の雇用に伴う経費:法定福利費、労務管理費、安全管理費など)を加算しています。車持ちダンプ労働者は自らが必要経費(法定福利費等)の全額を負担しています。したがって、事業者側が労働者の雇用に伴う必要経費として上積みされている経費41%を請求する計算式を組み立てました。

(1)労働者の雇用に伴い必要な経費(労務費+その他の人件費=必要経費)41%
福利厚生費等現場作業における経費の41%を加算します。
24,605円×41%=10,088円を加算します。

64,770円(直接工事費)+10,088円(間接工事費)=74,858円

車持ちダンプ運転手がもらえる単価は、上記金額に消費税(10%)を加算する。

実働8時間稼働 **平均82,344円** (落札率は加味せず)

車持ちダンプ労働者 常用単価82,344円

積算単価

元請は直工費単価を支払え 発注者は現場指導の徹底を

全国ダンプ

国土交通省は、毎年新しい公共工事設計労務単価とダンプの車両費、タイヤ、燃料価格など市場価格を反映し、積算された価格で公共工事を発注しています。全国ダンプ部会は、ダンプの常用単価(福利厚生費を含む)を計算したところ、全国平均で82,344円(税込み)となりました。

この金額を加えてダンプ労働者の2025年度(令和7年)常用単価の全国平均は82,344円(税込み)です。この計算方法は国交省交渉や国会質疑での大臣答弁などでも裏付けられており、全国キャラバン要請行動で各発注当局も認めています。

の引き上げとなっています。合わせて国交省は週休2日制を導入する現場では、労務費を5%引き上げる措置を取っていますので、ダンプの場合一、230円をさらに追加できることとなります。

国土交通省は、「労務費、車両費、タイヤ、燃料」などのダンプを使用する際に係る必要な経費等の実態を反映し、予定価格を積算して毎年公共工事を発注しています。この積算方法を踏まえ10トンダンプの常用単価を計算すると図表のようになります。軽油価格は、全国平均のり

今年度は機械損料等の改定はないので昨年と同額です。タイヤ価格も同様です。労務単価は賃金は、一般運

全国平均で昨年比1、151円引き上げられています。これらを含めた費用「64,770円」が直接工事費となります。国交省は2013年から労働者を雇った際の必要経費(社会保険、労災保険、年金、交通費等)について労務単価の41%相当分を上乗せできることを示しています。

単価改善闘争を展開しよう
仲間の仕事と生活を守ろう
ダンプの積算常用単価(工事原価)は、全国平均で2012年度の「55,805円」から、25年度は「82,344円」となり、約2万7千円

の引き上げとなりました。しかし、重層下請構造の下、末端で働く労働者やダンプに對する低賃金・低単価の押し付けが今もなお続いています。国交省は昨年第3次担い手3法を成立させました。重点の一つである、建設業法19条3(原価割れ契約の禁止)では、元下契約の両方に罰則が科され、合わせて「標準労務費の設定」が実施されます。国交省が定める水準を下回る労務費(賃金)を現場労働者への支払うことを禁じます。公共・民間を問わず各発注者に義務化されます。

現状では、ダンプの常用単価への適用は言及されていません。しかし、ダンプの土砂搬入・搬出が無ければ土木工事になりません。災害復旧にも欠かせない存在です。これまでも単価叩きは過積載・違法運行の原因となることとは国交省も認めています。全国ダンプ部会は、使用促進・職場闘争に取り組みを各地で展開し、仲間の仕事と生活を守る運動を展開します。

不当な排除通達 早期に修正実現

ナンバー問題 自家用ダンプ排除反対 全ト協へ緊急要請行動

全国ダンプ部会は3月28日（金）、東京・四谷にある全日本トラック協会（全ト協）本部に対して申し入れました。昆茂太郎部会長、廣瀬肇事務局長、森谷稔・顧問が参加し、全ト協は松崎専務理事、土屋・輸送事業部長、金子・企画部長の3名が応対しました。申し入れの主旨は3月14日付で発信された「違法な白ト行為（無許可運送）」に関する情報提供のお願いの通達について、撤回・修正です。この通達は岩手県トラ協・ダンプトラック部会から県内

事業者に送付されていることが岩手ダンプ支部の組合員からの情報で発覚しました。近年トラック・ダンプの白ト行為が各地で摘発されていますが、「情報提供フォーム」を作成し、公共工事で就労する白ナンバートラックについての情報提供を求めています。自家用ダンプの就労が最初から違法行為に当たると決めつけ、現場から締め出す目的で作成されたようにしか受け止められません。一昨年も東北方面での自家用ダンプを標的にした排除の

動きがあつた為、森谷顧問が抗議要請を行いました。改めて国交省の資料に基づいて全国の登録状況やダンプ規制法の制定経過、単価改善闘争の取り組みも知らせ、「貨物自動車運送事業法をタテにして、車持ちダンプ労働者に対する不当な排除は許されない」「通達の撤回もしくは修正を早期に求めます」と要請しました。松崎専務からは「荷主側に對して白ト行為を喚起することが目的でした」「自家用ダンプの排除が主旨ではない。

誤解を与えてしまい、申し訳ない」と回答しました。土屋事業部長は「ダンプトラック部会としては発信していない。岩手に連絡して対処します」と話しました。後日、金子企画部長を通じて、通達及び情報提供フォームを修正する連絡が入り、部会の意見が下線部分に反映され、4月4日付で発信されました。（別掲）



栃木ダンプ支部・前委員長の工藤経見さん

こうやって仕事できるのも
が赤ちゃんがここまで支えて

事務連絡
令和7年4月4日

各都道府県トラック協会
専務理事 殿

公益社団法人全日本トラック協会
専務理事 松崎 宏樹 様

「違法な白ト行為（無許可運送）に関する
情報提供のお願い」（令和7年3月14日付事務連絡）について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、当協会の事業運営にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、令和7年3月14日付事務連絡において、「違法な白ト行為（無許可運送）」に関する情報提供のお願いをさせていただいたところ、会員事業者の皆様方より多数の情報提供をいただいております。感謝申し上げます。
今回、情報提供をお願いしているものは、あくまで、国土交通大臣の許可を得ずして有償で他人の貨物を白ナンバートラックで運送（無許可運送）している「違法な白ト行為」に関するものを対象としております。いただいた情報の中には、自社の貨物を運んでいる白ナンバートラックや、車持ち労働者として建設業者や資材業者に雇用されている自家用ダンプ（ダンプ規制法に基づき「公共工事における優先使用団体」として稼働している自家用ダンプ）が含まれておりますが、こうしたものは対象としておりません。なお、こうした誤解を与える可能性がありますので、「情報提供フォーム」を別添のとおり修正いたしました。
上記につきましてご確認いただき、引き続き、会員事業者の皆様から情報提供いただきますようお願い申し上げます。何卒、よろしくお願い申し上げます。 敬具

【全ト協情報提供URL】
<https://forms.gle/No337990F-c2044>
トップページバナー「情報提供フォーム」からアクセスできます。
【メールによる情報提供の送付先】
企画部アンケート調査窓口 (11chou@ita.or.jp)

全ト協から再周知された通達及び情報提供フォーム

ダンプ・大工・電気・防水・内装・屋根・軽貨物など一貫方針の労働組合

建交労北陸ダンプ支部

全日本建設交通一般労働組合 北陸ダンプ支部

お問い合わせ先：〒920-0203 石川県金沢市木越町手77-2
☎ 076-257-4885
Eメール: hokuriku-d@forest.ocn.ne.jp

【建交労】
建設業労働組合共済制度（建交共）
は現地で働く方の制度で、残土運搬のダンプも適用となります。
公共工事・民間工事では、1日働けば保証が1枚（320円）もらえます。
組合1日に5枚の保証を積み重ねると、新しい手帳にして10日間で約100万円の退職金が支給されます。
組合が窓口になっているので、手帳の発行や更新・退職金請求の手続きを行っています。

【自動車保険】
組合では、自動車保険の代理店になっており、組合員割引があることで費用の負担軽減も期待できます。
また、ヤマト運輸などの休業補償についても、相手の保険会社に対して、一人親の休業補償について説明や交渉も実施しています。

【2023年6月インボイス説明会】

【申請や各種相談】
◎ 産業廃棄物収集運搬の講習会や新規・更新許可申請や変更申請に対する相談。
◎ 労働者を雇い入れる際の労働契約書の相談。
◎ 労働主・会計士の紹介

【税金学習】
組合では、納税者の立場から、青色申告も白色申告も同様、売上や経費の集計方法のアドバイスも2月から3月に毎月開催しています。税務署のアドバイスを受けた白色申告のノウハウや正しい集計方法を解説・提供しています。

【小規模企業共済とつづき】
安心、安全な目標を持った退職金制度です。拠金は月額1,000円～70,000円で自由に選べます。確定申告では全額控除対象となります。

北陸ダンプ支部の取り組みを知ってもらう為にパンフレットを作成しました。

3月14日午後7時30分からNHK宇都宮放送局「とちすぺあの日」のふるさとSPの番組で、栃木ダンプ支部の組合員で前委員長の工藤経見さんが紹介されました。早朝から工藤さんが運行するダンプに同乗し、仕事なども密着取材する様子がぐいねいに紹介されました。今回は過去に放送された番組から視聴者投票によって選

出演
NHKが組合員を取材
栃木ダンプ・工藤さん
栃木ダンプ

この間組合員からの紹介を受けましたが、その際にパンフレットを用いながら組合の活動を話しています。今年に入り20歳代の若手を筆頭に8名が組合に加入しました。今後も紹介運動を中心にパンフレットを活用した拡大運動展開していきたいと考えています。さらにはネットやSNSを活かしたCM動画の作成も検討中です。

ばれた上位5番組が紹介されました。その中で昭和48年から東北地方より「出稼ぎダンプ」として、栃木で働く人たちの紹介した番組の第2位に選ばれました。放送の中では当時のダンプ（超過積載）の状況や給料日に給料袋を手渡されて喜ぶ姿がドライブレコーダーで撮影された映像が映し出されました。

木県出身のタレントが県内の地場産業や首都圏のインフラ整備を支える存在としてのダンプの状況を語るなど、貴重な映像を懐かしんでいました。

そして「元出稼ぎダンプ」として、青森県出身の工藤さんが紹介されました。深夜車庫を出発し、埼玉県内の生コン工場まで運行する姿が放送されました。取材の中で工藤さんは、「出稼ぎ当初は、1年に一回青森の実家に帰り、母ちゃんの手料理を食べて、家族と過ごすことが一番の楽しみだった」と語りました。やがてさみしさに耐えられなくなつて、家族を栃木に呼び寄せました。さらに現在までダンプの仕事で長年続けられたのは、日ごろから支えてくれた奥さんの存在であると感謝を述べていました。